



防府市民のみなさんが参加されている人権学習の様子や、防府市内の小・中学校が行っている人権についての取組を広く発信することにより、より多くの方が人権について考えることのできる機会をつくり、「一人ひとりの人権が尊重された心豊かな温もりのある地域づくり」の一助としたいと考えています。人権学習の依頼・質問等ございましたら、生涯学習課人権学習室までご連絡ください。(0835-23-3016)

## 新規採用職員人権研修会

4月7日(水)

「ハラスメントの裏にあるアンコンシャスバイアス」

講師：三輪 知志 人権学習指導員

本年度第1回目の人権学習会は、防府市役所に新規採用された方々との人権学習会でした。

受講者からは「自分の価値観を人に押し付けることなく、互いの感情や思いを尊重していきたい。」「自分と異なる考えも否定せずに受け入れる姿勢であり続けようと思う。」など、人権を尊重しようとする声が聞かれました。心豊かな温もりのある地域社会をつくるために、「思いやり」や「相手意識」を皆で大切にしていきたいと思います！

研修会の中で、受講者の皆さんがグループになり、とても素敵な人権標語を考えておられましたので、紹介します。

あいさつのスタートは いつも 自分から

【標語に込めた思い】  
自発的なコールが相手を知る機会になって、豊かな人間関係を築ける！

声をかける！声をきく！

【標語に込めた思い】  
自分から声をかけることによって自分以外の人の意見も大切にし、尊重していこうという思い。

かよわせよう 心と目線

【標語に込めた思い】  
相手目線で物事を考えることと、コロナ禍でマスクをつけているからこそ、目線をしっかりと合わせていきたい。

明るい挨拶から始まる 豊かな防府

【標語に込めた思い】  
挨拶溢れる明るい街にしたい。

マスクごしのオーバーアクション

【標語に込めた思い】  
コロナ禍だからこそ、相手に伝わりやすくするために、大きな声やジェスチャーが大切！

気持ちのいい挨拶が 心の扉の 自動ドア

【標語に込めた思い】  
気持ちのいい挨拶をすることで、自然と良いコミュニケーションをとることができる。

心で伝わる 画面越し マスク越し 電話越し

【標語に込めた思い】  
コロナ禍だからこそ、できるのは見えない部分での思いやり！

## 人権擁護委員協議会研修会 4月27日(火)

「差別問題について ～コロナ差別等～」

講師：水野 昭 人権学習指導員

「コロナ差別」「障害者の問題」を通して、相手を思いやり、大切にすることを考えました。

受講者からは、「講師が紹介された『行く言葉が美しいければ帰る言葉も美しい』という韓国のことわざの意味をよく考えたい。」という声が聞かれました。発する言葉の大切さを改めて考えてみませんか。

